

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道2号 西条バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県東広島市西条町上三永 至：広島県東広島市八本松宗吉			延長	11.3km	
事業概要 一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 西条バイパスは、東広島市街地の慢性的な交通混雑の解消及び、交通安全の確保を目的とした延長11.3kmのバイパスである。						
S49年度事業化	S50, S62年度 都市計画決定		S53年度用地着手	S55年度工事着手		
全体事業費	約540億円		事業進捗率	71%	供用済延長	8.5km
計画交通量	33,300~54,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 4.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 102 / 900 億円 事業費 : 85/869億円 維持管理費 : 18/30億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 506 / 2,484 億円 走行時間短縮便益 : 432/1,990億円 走行経費減少便益 : 52/ 391億円 交通事故減少便益 : 23/ 104億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C= 7.2 (交通量+10%)		B/C= 3.4 (交通量-10%)			
事業費変動	B/C= 4.6 (事業費+10%)		B/C= 5.4 (事業費-10%)			
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（広島空港へのアクセス改善） ・個性ある地域の形成（広島中央テクノポリス計画の支援）					
関係する地方公共団体等の意見	他16項目に該当					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	周辺開発の増進や人口増加に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末で用地買収については概成しており、現在までにバイパス区間8.5kmが暫定供用済み。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る区間についても、早期供用を目指し、事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	補強土擁壁工で新工法を導入し、工事費の削減や施工効率を向上させ、コスト削減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。